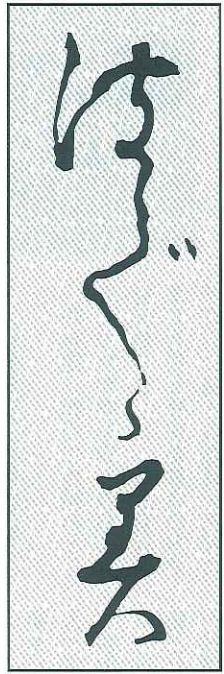


大分県PTA



発行所 大分市大字下野496の38 大分県教育会館2階 大分県PTA連合会 (097)556-9055 http://www.oita-pta.com/ 責任者 富永大輔 印刷所 大分市大字上野4485番地の1 大分出版印刷



時代を見据え 取り組みを

～子どもたちのために今、心を一つに～

平成22年度 第62回大分県PTA連合会 定期総会



あいさつする富永県PTA連合会長

会員9万人の力を一つに

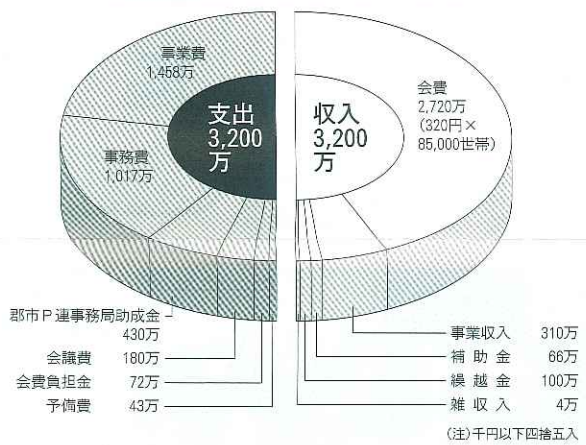
はじめに、富永大輔県PTA連合会長があいさつ。「昨年は、新型コロナウイルスエンザが教育界をゆるがし、県内でも学校行事などに多大な影響をあたえた。このような中、県PTA連でも

平成22年度大分県PTA連合会定期総会が6月4日、広瀬勝貞県知事(代理二日市員正副知事)をはじめとする多数の来賓と県下16郡市等PTAの代議員、被表彰者約130人が出席し、県教育会館で開催された。多くの課題を抱えている現在、「保護者心得六箇条」をもとに、県下9万の会員が一つとなり、家庭・学校・地域の連携を強化し、時代の変化に対応した子どもたちの健全育成に努めることを宣言した。

初めて高P連と連携し、新型コロナウイルスエンザに感染した受験生の受験の機会が失われないうよう、県教委へ受験対策についての要望を出した。今後

も協働できる場面では連携していきたい」と語った。次に「いろいろな問題を抱えている現在、私たち保護者が関係者と連携し一体となった取り組みを行う時期にきている。県PTA連では『保護者心得六箇条』を配布。県内9万の会員

平成22年度一般会計予算



県PTA会費は 一世帯あたり450円で、単位PTAごと一括納入となっています。320円が県P会費で、130円はPTA安全補償制度の掛金として支払われ、一般会計の収支に含まれていません。

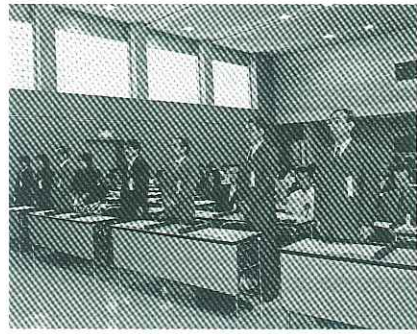
Table of staff introduction for FY22. Includes positions like Chairman (富永大輔), Vice-Chairman (後藤智), and various committee members from different municipalities.

よりよいPTAを目指して

役員改選について、選考委員よりその過程が報告され、会長に富永大輔現会長を再選決定したことを発表した。副

が一体的に取り組むことができればと思っている。高P連との協力など他団体との連携にも努めていきたい」と強調した。続いて、PTA活動に貢献した大分市立下郡小学校Pほか11団体と諸富正徳梓葉市立宗近中学校P会長をはじめとする個人31名に表彰状、2名に感謝状が贈られた。

の夢の実現を積極的に後押しするための教育振興に力を入れていく。地域住民の協力を得て学校教育の場で支援する「協育ネットワーク」の取り組みを県内全域に広げていきたい。一方「男性子育て参画日本一」を目指して、安心して楽しく子育てができる環境の整備にも取り組む。家庭教育の充実には父親の子育て参加が重要である。特に、今年度は父親部会の設置を促進し、父親が学校行事やPTA活動に参加しやすい環境づくりを進めていきたい」と述べた。



表彰される各校代表

平成22年度の主な事業

- 県P全単位PTA会長研修会 (8月21日)
第58回日本PTA全国研究大会 (8月27日)
第55回九州ブロックPTA研究大会 (10月30日)
県PTA指定研究校発表会 (11月7日)
宇佐市立長洲中学校P (11月13日)
豊後大野市立大野小学校P (11月20日)
研究校 (平成22-23年度)
梓葉市立梓葉小学校P
大分市立東陽中学校P
臼杵市立上北小学校P
第19回県PTA研究大会 (平成23年1月22日)

研心北

「会すれど議せず、議すれど決せず、決すれど行なわず」40年前に知った出典不明の文である。総会や各種委員会が一段落し、新しい役目や係りになり、重荷だ、不安だと思ってしまう。しかし「十戦十勝ほど怖いものはない。一勝九敗だからこそ、ひとつの成功に深みがあり、次につながるパワーが生まれる。『失敗の質が大事だ。一直線に成功というものはほとんどありえないと思う。成功の陰には必ず失敗がある。』計画したら必ず実行する。頭のいいと言われる人に限らず、計画や勉強ばかり熱心で結局何も成らない。『歯に衣着せぬ批判は大事である。』組織の中で肯定することと批判することが渦を巻いて組織全体が揺れているような、そんな状態が望ましいと思っている。組織は安定したらそこで終わらぬ。『経営理念の第五条。社員ひとりひとりが自活し、自省し、柔軟な組織の中で個人ひとりひとりの尊重とチームワークを最重視する経営。』本気でしなくては成果はあがらない。ピッチャーはピッチャー本来の仕事。ピッチャーがキャッチャーの能力や相性ばかり気にする。これは駄目。チームプレーの基礎は、すべて個人プレーである。これを両立させることが組織で経営する運営するということ。以上は今や世界の『ユニクロ』を育てあげた柳井正氏著『一勝九敗』新潮文庫より。『まさか』に『失敗は成功の素(母)』である。終わりに冒頭の文を振って「会すれば議し、議すれば決し、決すれば必ず行い、そして行っても決して誇らない」というPTA会員や役員にならなくて、子どもたちの為になる活動をしていただきたい。



連合会を支える 主要行事

杵築市PTA連合会

幼稚園といっしょ

杵築市PTA連合会は、幼稚園9園と小・中学校18校で組織される県内でもめずらしい連合会です。

子どもの減少に伴って毎年学校数が減ってきていますが杵築・山香・大田の三支部が一つになって子育てをしようという一人ひとりが一生懸命に活動を進めています。

市教委との懇談会

昨年度、初めての試みとして市の教育関係者との懇談会を実施しました。参加者は各単P会長と教育委員会の方で子育てに関する意見を真剣に



6月18日(金)、県P連幹部研修会が大分市コンパルホールで開催された。来賓として、石井雅晴県社会教育課長、後藤裕之県社会教育主事を迎え、県内16郡市等の県P連理事、母親代表、事務局長の57名が出席した。

平成22年度 県P連幹部研修会

リーダーとして意識を持ち 目標をひとつに

本会は年に1回開催され、各郡市等の幹部が一堂に会し、今日的な活動のあり方について研修を行う。お互いに連携し、リーダーとしての役割の向上をめざすことを目的としている。

理事会では、専門部会である「総務・厚生部会」と「教育・研修部会」の継続化と組織作りを決定。



次に、各専門部会、母親部会、事務局長会では、それぞれ独自の懸案事項解決のための具体的な取り組みについて討議を深めた。

主な協議内容

- ・【総務・厚生部会】
 - ・県P補償制度引き受け保険会社の継続・保険内容について
 - ・「こは命の星」推進事業について
- ・【教育・研修部会】
 - ・県P全単位PTA会長研修会の計画・運営について



熱心に耳を傾ける幹部

「心の通い合う対話で、人権が尊重される社会を」願って制作された啓発映画。

合同研修会では、北九州市人権啓発アニメーションDVD「声を聞かせて」が上映された。

「心を通い合う対話で、人権が尊重される社会を」願って制作された啓発映画。

参加者は「まだ子どもは持っていないが、その時期に携帯電話を子どもが持つというところは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。この現実に向き合っていけばいいの、一緒に考えることで認識を深めていくことが目的。」

・教育問題懇談会の各郡市P連の要望事項の審査・決定について

・【母親部会】

- ・各郡市の情報交換など

みんなで がんがえる コーナー

「らしさ」がみえる一瞬

おばあちゃん、小学一年生。おばあちゃん、お空はいつもおばあちゃんのおつきあひ。いつもの風景ですが、この日は、不思議な看板を目にしました。

「おばあちゃん、お空はどこで売っているの?」

おばあちゃん、びっくり。

「さっき、お店の看板の中に『空、あります。』って書いていたよ。何?」

聞かれた言葉をくり返ししながら、運転していたおばあちゃん。その時、「あつ、そわか」と気づき、「あね、空(そら)という漢字は、『空(そら)』と読むんだよ。『ア』

なとお君は、小学一年生。おばあちゃん、お空はいつもおばあちゃんのおつきあひ。いつもの風景ですが、この日は、不思議な看板を目にしました。

「おばあちゃん、お空はどこで売っているの?」

おばあちゃん、びっくり。

「さっき、お店の看板の中に『空、あります。』って書いていたよ。何?」

聞かれた言葉をくり返ししながら、運転していたおばあちゃん。その時、「あつ、そわか」と気づき、「あね、空(そら)という漢字は、『空(そら)』と読むんだよ。『ア』

おばあちゃん、小学一年生。おばあちゃん、お空はいつもおばあちゃんのおつきあひ。いつもの風景ですが、この日は、不思議な看板を目にしました。

「おばあちゃん、お空はどこで売っているの?」

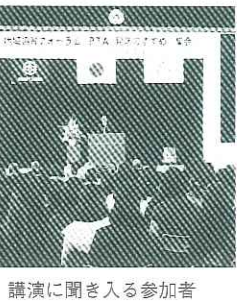
おばあちゃん、びっくり。

「さっき、お店の看板の中に『空、あります。』って書いていたよ。何?」

聞かれた言葉をくり返ししながら、運転していたおばあちゃん。その時、「あつ、そわか」と気づき、「あね、空(そら)という漢字は、『空(そら)』と読むんだよ。『ア』

話し合いました。

今年度からは、子育てに携わる各方面の方も参加してもらい活動を広げていこうと計画しております。



講演に聞き入る参加者

母親部会 講演会

「子どもの生活習慣をつくるための親としてのありかた」

今回、母親部会では、講師に県社会教育委員の三重野待子氏を招き講演会が開催された。

これは子どもたちが人としてどうあるべきか、何が大切なのか、親として学んでいくと企画したもの。

日頃の私たちの子どもへの接し方について、親のあり方を指摘されたように述べた。

「子どもにとって大切なことは顔を見て話すことである。目と目を合わせ、そこから心を感じとる。しついで生活習慣をつけていく時、まず、大人が誠意のある言葉や態度で接しなければいけない」

「大切なのは、身につくこと」

身につけさせたいことがある。いろいろある中、つい「家事手伝いをする時間があつたら勉強しなさい」と言ってしまう。「知識を与えるだけでは良くない。応用力をつけるためには、毎日の生活の中で時間を

さあ来い! リスク。

安心のゴールキーパーでありたい。

リスクとトータルに戦う総合保険ブランド[GK]

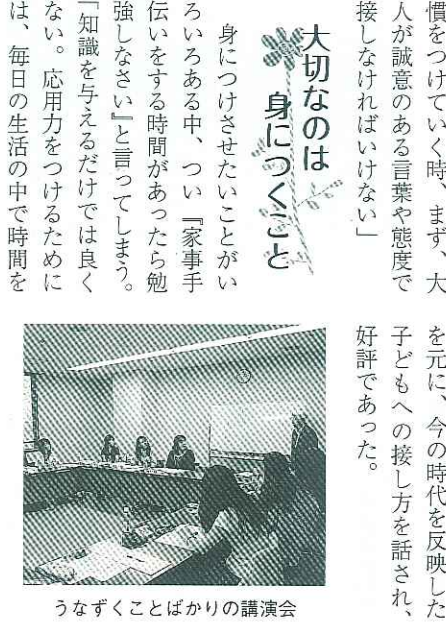
【クルマの保険】 【住まいの保険】 【からだの保険】 【生命の保険】

三井住友海上グループ MSIG

三井住友海上火災保険株式会社

〒104-8252 東京都中央区新川 2-27-2

www.ms-ins.com



うなずくことばかりの講演会

かけて経験を重ね、体で覚える必要がある」

「家庭の中に、子どもが体験できるものはたくさんある。身近なところに応用するものがもつとあるはず」と話した。

講演は、先生の豊かな経験に裏打ちされた具体的な事例を元に、今の時代を反映した子どもへの接し方を話され、好評であった。

平成21年度「親学PTA連合会子育てネットワーク」の指定をうけ、保護者・先生・地域の方々が参加して行った講演会では、講師に熊本県尚綱高校校長の川上清司氏を招き「あたり前が輝いている子どもに」という演題で話していただきました。

参加者の皆さんは、先生の巧みな話術に、時間を忘れて時は笑い、時には涙をしながら聞き入っていました。

参加後のアンケートでは、「もう一度聞きたい」という方が続出するほど好評

「生きる力を育む」

「生きる力を育む」

「生きる力を育む」

「生きる力を育む」

県P全単位PTA会長研修会

開催日 8月21日(土)

会場 県教育会館

多目的ホール他

日程(予定)

映画鑑賞

【午前】大分県大会(ニューズホール)

【午後】分科会等

(午後にグループ討議等)

県P情報

大分県PTA連合会の事務局を紹介いたします。

事務局長 江口 洋子(新)

事務局次長 濱地 京子

事務局員 伊達 清子

編集後記

はぐく美編集委員が6月より加わりました。

増田 紀子(新)

▼新年度がスタートしました。みんなで手をつないで子どもたちを育てていきましょう。

▼今回、母親部会に出席しました。熱心に講演を聞く姿に、課題や問題の深さを実感。